

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治  
 (コード番号: 8732 東証第一部)  
 問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄  
 (TEL. 03-4540-3804)

## 2022年2月次 月次概況(速報)のお知らせ

2022年2月次の当社グループの月次概況(連結ベース)を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

## 記

年月	2021年3月期											
	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	407	303	318	282	309	310	273	355	495	413	452	591
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	82,072	92,851	106,893	75,910	85,460	82,287	60,129	75,348	71,190	66,894	71,453	97,402
外国為替取引口座数 (単位:口座)	340,605	340,735	340,825	340,830	340,840	340,768	341,218	341,138	341,086	341,521	341,690	342,122
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	62,460	62,004	61,807	62,331	62,751	65,155	62,104	61,812	61,175	60,590	59,575	59,081
一般顧客	60,227	59,654	59,267	60,022	60,364	63,044	60,121	59,849	59,365	58,733	57,731	57,346
金融法人(BtoB)	2,232	2,350	2,539	2,309	2,386	2,111	1,982	1,963	1,809	1,856	1,843	1,734
マネパカード口座数 (単位:口座)	162,828	163,034	163,058	163,086	163,138	163,159	163,034	162,996	162,802	162,492	162,309	161,921

年月	2022年3月期											
	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	445	403	430	395	387	470	430	429	589	394	396	
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	72,253	82,478	73,411	92,739	76,532	78,411	90,593	95,217	66,099	73,976	82,802	
外国為替取引口座数 (単位:口座)	342,801	343,397	343,817	344,134	344,314	344,522	344,755	345,482	346,625	347,287	347,437	
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	58,635	56,276	56,581	56,671	56,468	56,284	55,503	54,426	53,911	54,402	53,808	
一般顧客	57,068	54,786	54,965	55,027	55,065	54,825	54,090	52,988	52,409	52,848	52,151	
金融法人(BtoB)	1,567	1,489	1,616	1,644	1,403	1,459	1,412	1,438	1,501	1,554	1,657	
マネパカード口座数 (単位:口座)	161,712	161,526	161,301	161,091	160,964	160,800	160,701	160,574	160,390	159,994	159,566	

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。  
 2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。  
 3. 2011年8月より差金決済取引(CFD-Metals取引)の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高(原取引単位を米ドルに換算)及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。  
 4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。  
 5. 2020年7月から2021年3月までの「営業収益」には連結子会社のコインネージ株式会社の数値が含まれております。なお、同社は2021年3月31日をもって暗号資産交換業を廃業し解散しております。

## < 2月次の概況 >

2月の外国為替相場は、米ドル/円については、1ドル=115円前半まで取引が始まり、2日に米1月ADP雇用統計が市場予想を大きく下回ると月中安値となる114円前半を付けましたが、その後米長期金利が持ち直し、4日には米1月非農業部門雇用者数が市場予想を大幅に上回ったことから一時115円台半ばまで上昇しました。翌週7日にはポジション調整の動きから114円台後半まで下落する場面もあったものの、10日に米1月CPIが前年同月比7.5%上昇と1982年2月以来の高い伸びとなったことや米長期金利が2019年8月以来の2%台に乗せたことにより、月中高値となる116円前半を付けました。しかし、11日に「プーチン大統領がウクライナ侵攻を決定」の報道があったことで115円台前半まで急落し、その後もウクライナ情勢の動向を睨みつつ114円台後半から115円台後半のレンジでの推移となりました。24日には「ロシアがウクライナに特殊軍事作戦の決行を決断」と報道されるとリスク回避の円買いが優勢となり一時114円台半ばまで下落しましたが、欧州諸国による制裁が限定的な内容に留まったことを受けて115円台半ばまで値を戻し、114円台後半で月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、欧州通貨は序盤に月中高値を付けた後は概ね下落傾向での推移、オセアニア通貨は概ね上昇傾向での推移となりました。

外国為替相場の変動率は、米ドル/円においては、1日の平均値幅が0.666円（前月は0.670円）となるなど、若干低下したものの、欧州・オセアニア通貨においては、ウクライナ情勢の影響により前月より上昇し、全体としては一定程度上昇しました。

このような状況の中、パートナーズFXnanoではキャンペーンとして実施していた「米ドル/円」で1回あたり取引数量3万ドルまで原則24時間スプレッド0.0銭（売買同値）の提示を先月18日より恒常化しております。さらに、16時00分～24時00分の時間帯においても、1回あたりの取引数量20万ドルまでキャンペーンスプレッドとして提示していた16時00分～18時00分まで0.1銭、18時00分～24時00分まで0.0銭を同じく先月18日から恒常化しております。また、先月20日より「米ドル/円」以外の主要取扱通貨ペアのうち「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「ユーロ/円」、「トルコリラ/円」の4通貨でも、キャンペーンスプレッドとして提示していた当社所定の注文数量まで原則24時間業界最狭水準スプレッドの提示を恒常化しております。加えて、「豪ドル/円」、「ユーロ/円」、「ポンド/円」では16時00分～24時00分の時間帯においてキャンペーンスプレッドとして提示していた1回あたりの取引数量20万通貨までの業界最狭水準スプレッドの提示も恒常化しております。

また、「約定力100%」のパートナーズFXでの主要取扱通貨ペアのうち「米ドル/円」をはじめとした「豪ドル/円」、「ユーロ/円」、「ポンド/円」の4通貨にて18時00分～24時00分の時間帯に限り、業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを続行しております。これに加えて、パートナーズFXでは大口・中口のお客様を対象とした「米ドル/円」でのお取引に対して100万ドルあたり300円の業界高水準のキャッシュバックキャンペーンを、「トルコリラ/円」では全時間帯で「1万通貨あたり10円の業界最高水準かつ上限なしキャッシュバックキャンペーン」を続行しております。「ポンド/円」ではお取引に対して1万通貨ごとに7円の業界高水準のキャッシュバックキャンペーンを続行いたしました。

2月に入り、パートナーズFXではこれまでとは異なる新たな通貨ペアにて業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを実施いたしました。2月7日からは「メキシコペソ/円」、「南アランド/円」の2通貨にて、2月21日からはこの2通貨ペアに「NZドル/円」、「カナダドル/円」、「豪ドル/米ドル」、「ポンド/豪ドル」、「ユーロ/豪ドル」の5通貨ペアを追加し、全7通貨ペアにて18時00分～24時00分の時間帯に限り業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを実施しております。

また、お客様に価格帯に応じてより高い資金効率でお取引いただけるよう証拠金ルールを変更いたしました。2月5日より、「豪ドル/円」、「NZドル/円」、「豪ドル/米ドル」、「豪ドル/NZドル」、「NZドル/米ドル」、「トルコリラ/円」、「南アランド/円」、「メキシコペソ/円」、「カナダドル/円」、「香港ドル/円」、「シンガポールドル/円」の11通貨ペアにて必要証拠金の計算方法を変更しております。続く2月19日からは、この11通貨ペアのうち「トルコリラ/円」、「南アランド/円」、「メキシコペソ/円」、「香港ドル/円」、「シンガポールドル/円」の5通貨にて、

更なる必要証拠金ルールの変更をしております。（「香港ドル／円」、「シンガポールドル／円」はパートナーズFXのみでのお取り扱いとなっております。）

外国為替取引高は、前月に比べ営業日数が少ない中、これらの施策が奏功したことにより、欧州・オセアニア通貨を中心に増加し、前月比12%増加の828億通貨単位となりました。営業収益は、取引高の増加や収益性の低い米ドル／円の割合低下により全体としての収益性が向上し、トレーディング損益が増加した一方、システム関連売上高が減少し、前月比1%増加の396百万円となりました。また、外国為替取引預り証拠金は一般顧客分が減少、金融法人分が増加となり、全体では前月比594百万円減少の53,808百万円となりました。

以 上